青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 第3回利活用ワーキンググループ

資料1. これまでの協議会、WGの内容整理

資料2. 将来の姿について

資料4. 市民参画イベント素案

資料5. 今後のスケジュール

資料6. 次回WG予告

【資料1】

これまでの協議会、WGの内容整理

これまでの協議会、WGの内容整理

6月1日第1回協議会	仙台市が策定した各種計画における仙台駅周辺及び青葉通の位置付けについて 【各種計画から抜粋した仙台駅周辺及び青葉通に関するキーワード】 ①仙台の顔・東北の玄関口 ②杜の都の象徴・緑あふれる市街地形成・緑空間や景観の創出 ③東北の中枢・高度な機能の集積・国際競争力のあるビジネス環境の整備 ④賑わい空間の創出 ⑤回遊性の向上 居心地が良く歩きたくなる歩行空間の創出 ⑥防災環境都市・防災対策・帰宅困難者の緊急避難場所の確保
7月9日 第1回ワーキンググループ	・他都市における道路空間利活用の事例紹介
8月6日 第2回ワーキンググループ	・動向を踏まえた現状の確認、整理 ・SWOT整理(強み、弱み、機会、脅威の提示)
11月1日 【今回】 第3回ワーキンググループ	・将来の姿について・市民参画イベント素案・今後のスケジュール

【資料2】

将来の姿について

各種統計データ等から見る青葉通駅前エリアの将来

- ①コロナ禍をきっかけに テレワークやECが浸透
- ②少子高齢化により 若年層が減少
- ③他都市では、 駅前空間をリニューアル
- ④周辺エリアの活発化
- ⑤歩行幅員が十分でない
- ⑥ペデストリアンデッキと 東西自由通路だけで回遊

ビジネスマンの出社・出張機会の減少

リモート授業も増え 学生の通学機会が減少

来街者、若者が減り、賑わいが低下

オフィス空室が増加し地域活力の衰退

他都市、 周辺エリアの魅力向上

魅力がなく、居心地よく歩けない歩行者空間

人が来ない

青葉通駅前エリアの ブランドカが低迷

国内、世界のみならず 都心内でも 相対的な評価の落ち込み



企業・人が 他都市へ流出

価値が低下

各種統計データ等 ①コロナ渦をきっかけにテレワークが浸透

- ●コロナ禍を契機に、テレワーク率が27.3%上昇
 - ⇒駅前の業務エリアから、通勤者や出張者が減少し、 商業・飲食等の消費等も減少

テレワークの導入状況

企業におけるテレワークの導入が急速に進み、導入企業の割合は倍以上上昇した。今後導入予定がある企業を含めた割合は、6割近くに達している。

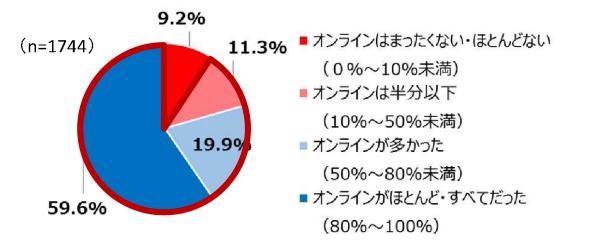


出典 R2年度通信利用動向調査(総務省)

●教育現場では90.8%の学生がオンライン授業と併用(R2後期) ⇒西口周辺への学生の来訪が減少

(1) オンライン授業の割合(令和2年度後期)

以前実施した、令和2年度後期授業の実施方針における調査では、 「ほとんど遠隔」と回答した大学等は約15%であったが、学生の履修した 科目から見ると、ほとんどオンラインだった学生は6割にのぼった。



各種統計データ等 ②年少人口の減少⇒若年層の減少

- ●年少人口増減率は、宮城県が18位。東北5県がワースト5を占めている。
- ⇒来街者の多くを占める若者が激減し、西口の来街者が減少

10年間の年少人口減少率(2012年~2021年)

順位	県名	年少人口減少率	年少人口減少数	
1	東京都	6.4%	+95673人	
2	沖縄県	-1.4%	-3546人	
3	福岡県	-2.2%	-15397人	
18	宮城県	-10.4%	-31658人	
		•		
40	山梨県	-15.8%	-17768人	
41	高知県	-16.0%	-14618人	
42	和歌山県	-16.5%	-21182人	
43	山形県	-17.8%	-26216人	
44	福島県	-18.1%	-47297人	
45	岩手県	-18.7%	-30854人	
46	青森県	-21.5%	-36435人	
47	秋田県	-22.5%	-27283人	

各種統計データ等

③他都市では駅前空間をリニューアル(他都市の事例)

●札幌駅:エリアマネジメントの取組み

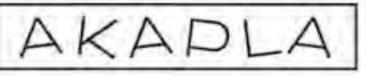
・多数のイベントを開催し、にぎわい創出に寄与

路線価推移	H27年	R2年	変化	
北三条広場(アカプラ)	950千円	2,480千円	約2.6倍	
周辺道路(札幌駅前通り)	1,820千円	3,600千円	約2.0倍	



【アクセス】 JR「札幌駅」南口より 徒歩 5 分 地下鉄南北線「さっぽろ駅」徒歩 2 分







各種統計データ等

③他都市では駅前空間をリニューアル(他都市の事例)

- ●神戸市 三宮駅 2021年10/22~10/31 サンノミヤシティピクニック
- ・民間企業が主体となった実行委員会にて神戸三宮駅前の道路空間を活用。将来はエリアマネジメント組織を設立予定
- ・神戸の玄関口にふさわしい居心地が良く賑わいのある空間創出のため、ソフト面の取り組みを実施
- ・将来の国際競争・都市間競争において神戸三宮が選ばれる街へ成長すること期待して実施

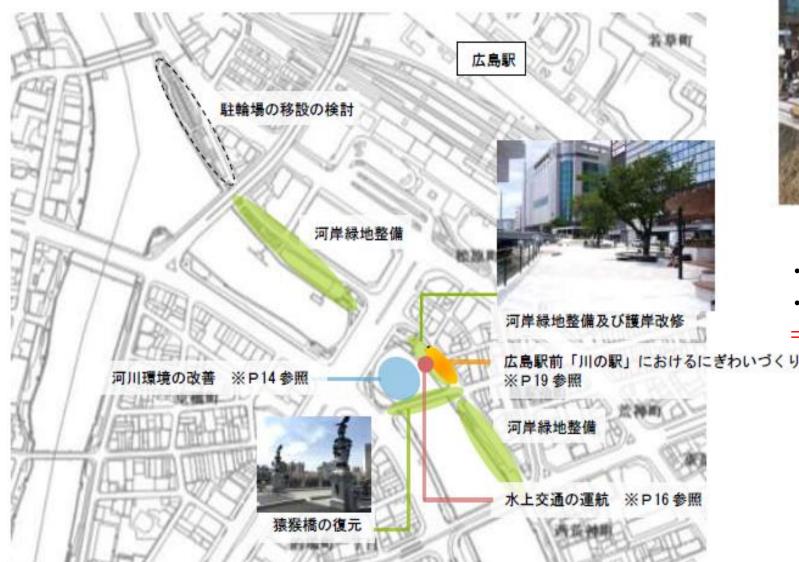


各種統計データ等

③他都市では駅前空間をリニューアル (他都市の事例)

- ●広島駅:再開発等の進展により新たなまちへと生まれ変わりつつある広島駅周辺地区が、広島の陸の玄関として持続的に発展していくために、地区内の企業・団体等が中心となり、地区の価値を維持・向上させるためのまちづくりを推進するエリアマネジメント団体を設立
- 「水の都」の玄関口にふさわしい空間の創出

広島駅周辺において、「水の都」の玄関口にふさわしい象徴的な空間とするため、河岸緑地の整備や護岸改修など水辺空間の整備及び維持管理に取り組むほか、広島駅南口第2・3 駐輪場の移設の検討等を行います。



▲ 広島駅周辺地区の水辺の整備

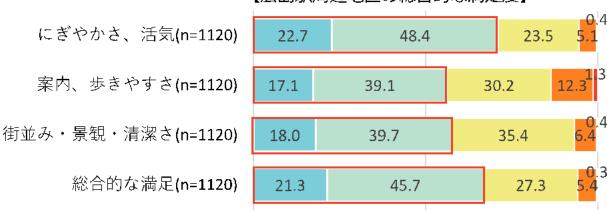


✓ 広島駅前「川の駅」のにぎ わいづくり

この地区を発着点とする 水上交通の運航を開始する とともに、民間事業者が核 となり、イベント等の実施、 利用調整などの運営管理を 行っています。

- ・エリアマネジメントによる来街者の高い満足度を達成
- ・賑わい創出、活動財源の確保、防災まちづくり等幅広い活動実施
- ⇒来街者アンケートでは、高い満足度を獲得

【広島駅周辺地区の総合的な満足度】



■とても満足 ■満足 ■普通 ■やや不満 ■不満

各種統計データ等

③他都市では駅前空間をリニューアル(他都市の事例)

●博多駅

はかた駅前通り(博多コネクティッド):官民連携による賑わいの創出

- ・車線の縮減(5車線から3車線にし、歩行空間を拡幅)
- ・壁面後退による、ゆとりある歩行者環境の形成
- ・ビル建替を促すインセンティブ制度を創設し、10年間で20棟の建替を目標設定
- ⇒建築確認申請数15棟(建替完了7棟)を達成(2021.2時点)
- ■主なまちづくり取り組みの概要

●必ず実施する項目(地区整備計画に記載する項目)☆取組みを誘導する項目(取組みに応じ容積緩和する項目)

ゆとりある広場空間と 快適な歩行者空間の創出

- ●地上・地下広場の設置(はかた駅前通り) ●地上広場の設置(住吉通り)
- ●住吉通りと明治公園をつなぐ地上広場の設置
- ●南北の歩行者ネットワークを拡充する歩行者用通路の設置 ☆歩行者空間の高質化

都心機能の強化

☆業務機能の高度化や商業、文化、情報発信、感染症対策などの機能導入 による国際競争力の強化

円滑で安全な 交通環境の創出

☆利用しやすい駐輪場の整備 ☆共同荷捌き駐車場の整備

環境負荷の低減に 配慮した都市環境の創出

☆環境との共生に向けた環境負荷の低減や資源の再利用、緑化の推進

魅力ある まちなみの創出

壁面後退による、ゆとりある歩行者環境の形成☆建物低層部への賑わい施設配置☆沿道の緑化

誰もが安全で 安心なまちづくり

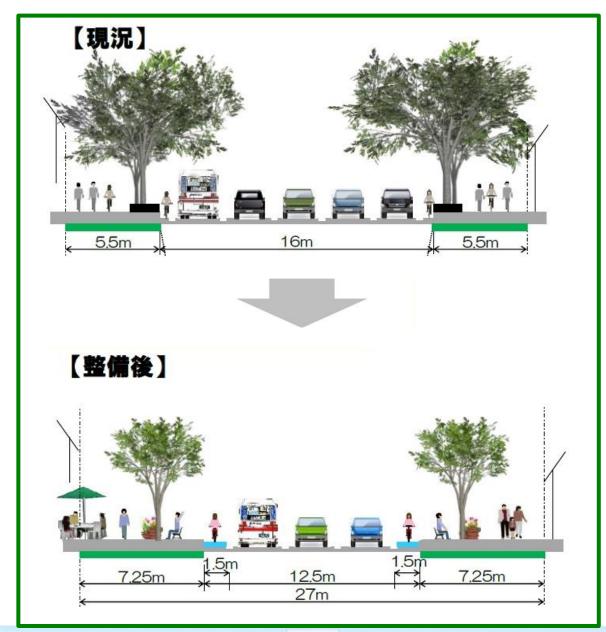
☆地震に強い建物整備 ☆防災備蓄倉庫確保、災害時の避難場所提供

■まちづくり取り組みイメージ











各種統計データ等 ④周辺エリアの活発化(仙台の事例)

- ●仙台定禅寺通り(定禅寺活性化検討会による取り組み)
- ・ワーキンググループ、パブリックミーティング、社会実験を実施
 - ⇒将来像を検討し、実現に向けた取り組みを多数実施。
- ▼パークレット(社会実験)が2020年度グッドデザイン賞を受賞



取り組み	内容
1. ワーキンググループ	・エリアブランディングプロジェクト・西側の歩道を楽しむプロジェクト・ストリートマルシェ
2. パブリックミーティング	市民参加イベント、パブリックミーティングを実施。
3. 社会実験	・車線を一部削減し、拡大した歩行者空間を利活用

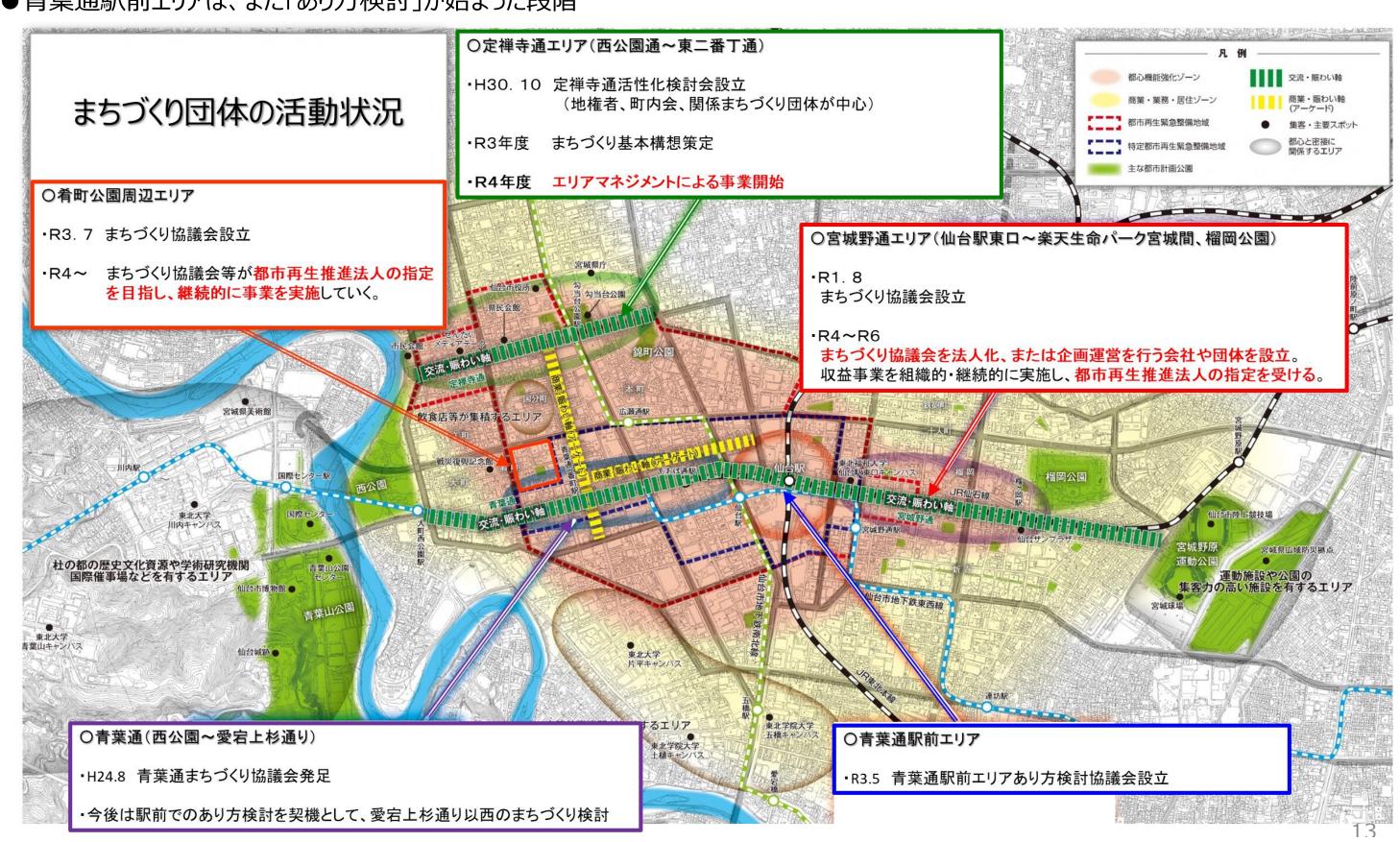
- ●仙台駅東口(仙台駅東まちづくり協議会による社会実験)
- ・歩道、公開空地を活用し、「食」を提供するイベントを実施(左)
- ・歩行空間に楽天生命パーク宮城の観客席を設置(右)
 - ⇒まちづくり計画書を市長に提出、社会実験を実施。





各種統計データ等 ④周辺エリアの活発化(仙台の事例)

- ●他のエリアでは、まちづくり協議会の法人化を目指すなど、将来の管理運営を見据えた動きとなっている
- ●青葉通駅前エリアは、まだ「あり方検討」が始まった段階



各種統計データ等 ⑤歩行幅員が十分でない歩道空間

● 青葉通駅前エリアの歩道幅員は幅 9 m。しかし、バス待ち乗客が並ぶ場合、実際の歩道幅員は約 2 m程度 ⇒歩道幅員は十分とは言えない。また、通過するだけであり、来街者に居心地よく歩きたいと感じてもらうことはできない

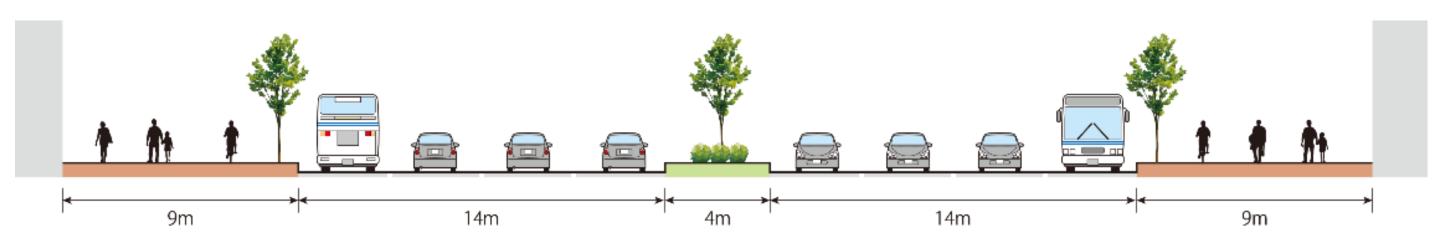


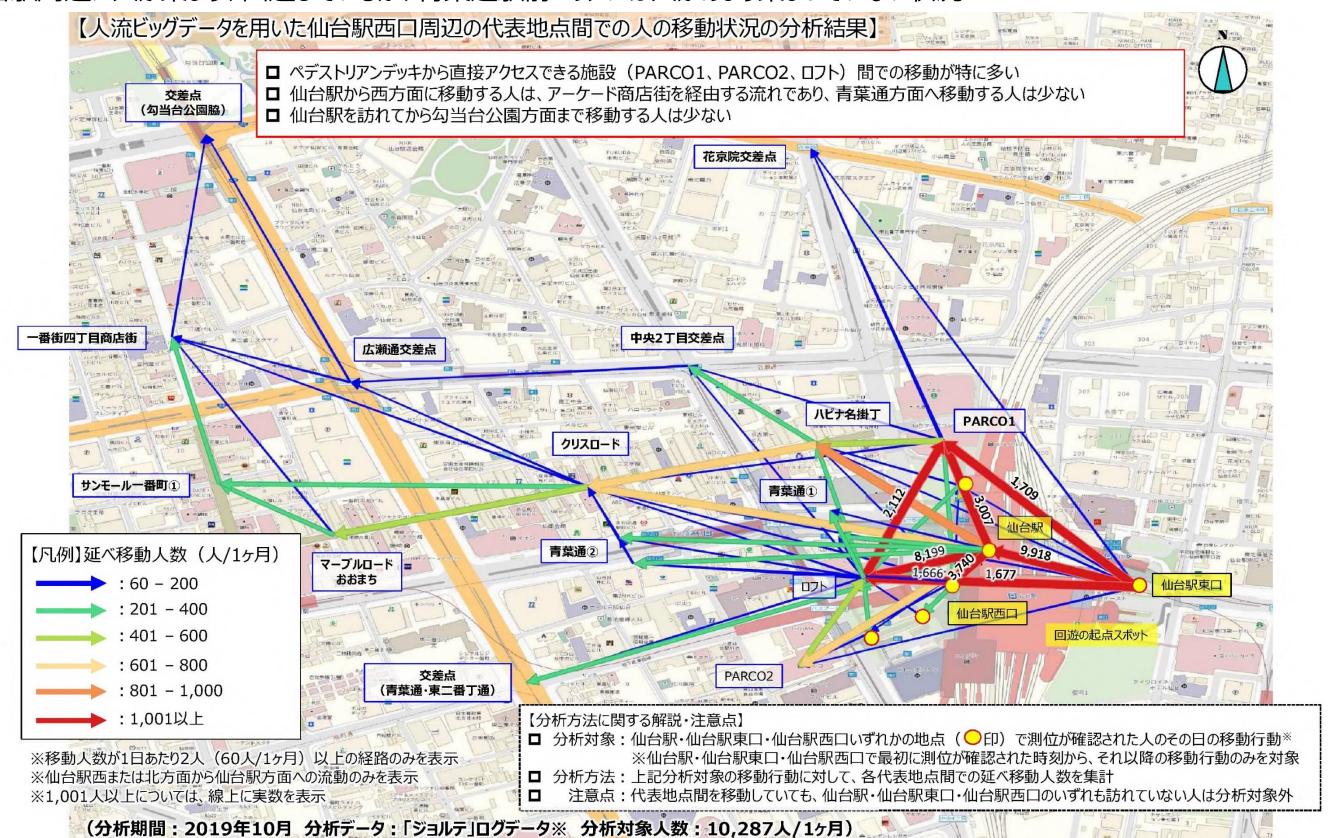
図 駅前区間の断面構成



各種統計データ等 (人流ビックデータ 仙台駅起点) ⑥ペデストリアンデッキと東西自由通路だけで回遊

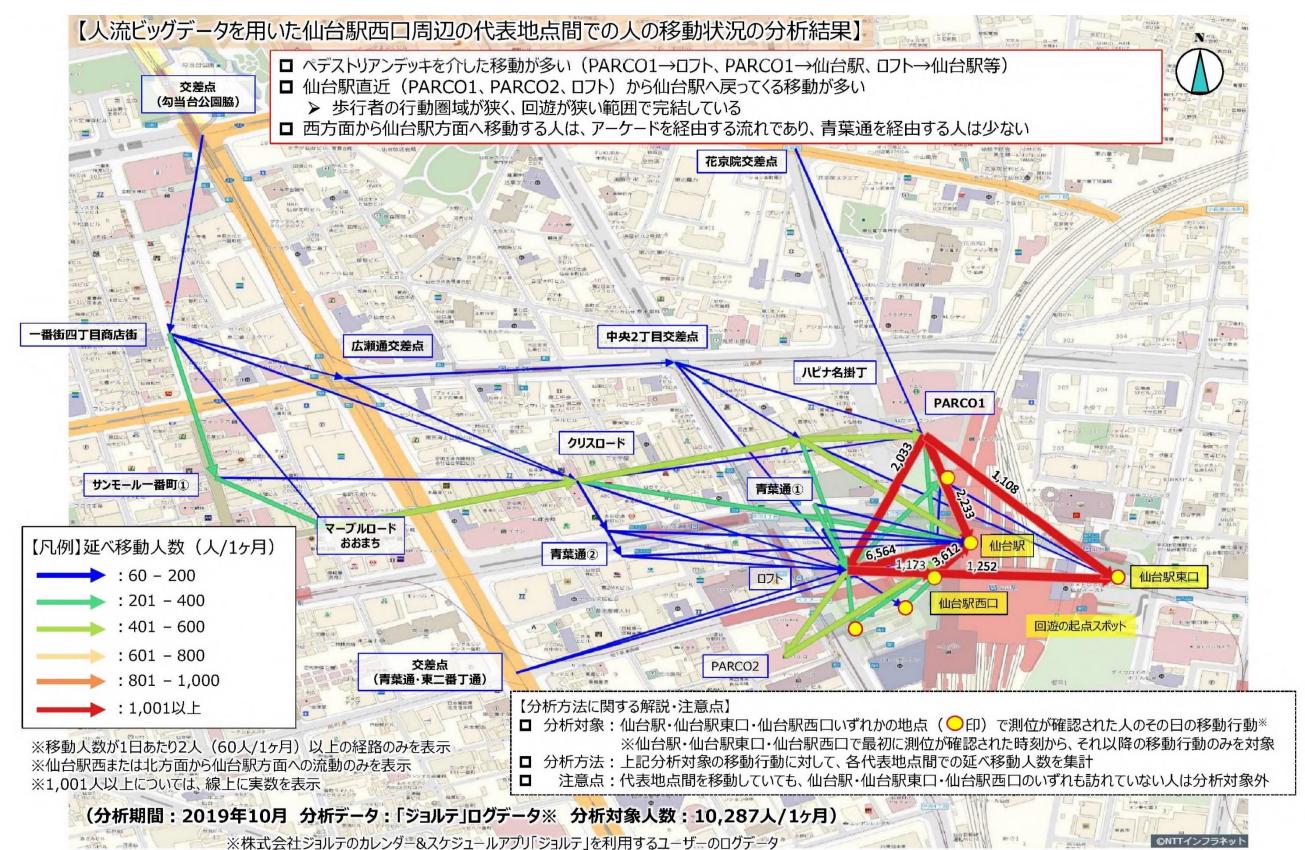
- ●仙台駅、駅西口、駅東口⇔西側への人の移動を見ると、仙台駅周辺に集中。
- 仙台駅周辺に人が集まり、回遊しているが、青葉通駅前エリアには人があまり集まっていない状況

※株式会社ジョルテのカレンダー&スケジュールアプリ「ジョルテ」を利用するユーザーのログデータ



各種統計データ等(人流ビックデータ 仙台駅に向かう方向) ⑥ペデストリアンデッキと東西自由通路だけで回遊

- ●仙台駅、駅西口、駅東口⇔西側への人の移動を見ると、仙台駅周辺に集中。
- ●仙台駅周辺に人が集まり、回遊しているが、青葉通駅前エリアには人があまり集まっていない状況



各種統計データ等から見る青葉通駅前エリアの将来

- ①コロナ禍をきっかけに テレワークやECが浸透
- ②少子高齢化により 若年層が減少
- ③他都市では、 駅前空間をリニューアル
- ④周辺エリアの活発化
- ⑤歩行幅員が十分でない
- ⑥ペデストリアンデッキと 東西自由通路だけで回遊

ビジネスマンの出社・出張機会の減少

リモート授業も増え 学生の通学機会が減少

来街者、若者が減り、賑わいが低下



人が来ない

青葉通駅前エリアの ブランドカが低迷

国内、世界のみならず 都心内でも 相対的な評価の落ち込み

オフィス空室が増加し地域活力の衰退

他都市、 周辺エリアの魅力向上

魅力がなく、居心地よく歩けない歩行者空間



企業・人が 他都市へ流出

価値が低下

仙台市の上位計画 仙台市が目指したい青葉通駅前エリア

【各種計画から抜粋した仙台駅周辺及び青葉通に関するキーワード】

- ①仙台の顔・東北の玄関ロ
- ②杜の都の象徴・緑あふれる市街地形成・緑空間や景観の創出
- ③東北の中枢・高度な機能の集積・国際競争力のあるビジネス環境の整備
- 4賑わい空間の創出
- ⑤回遊性の向上 居心地が良く歩きたくなる歩行空間の創出
- ⑥防災環境都市・防災対策・帰宅困難者の緊急避難場所の確保

賑わいとは?

- ●仙台駅周辺は、歩行者が多い。 しかし、人がたくさん歩くだけ(通過するだけ)で、「賑わいがある」と感じるでしょうか
- ◆人が「集まり、滞在し、交流し、活気がある」と感じられることが「賑わい」ではないでしょうか⇒実現すれば、来街者に青葉通駅前エリアは居心地がよく、また来たいと思ってもらえるのではないでしょうか
- ⇒現状はどのような状況でしょうか



平日朝の勾当台公園駅





仙台の顔とは?

●「まち」にも表情があるのではないか











仙台市の上位計画 仙台市が目指したい青葉通駅前エリア

【各種計画から抜粋した仙台駅周辺及び青葉通に関するキーワード】

- ①仙台の顔・東北の玄関口
- ②杜の都の象徴・緑あふれる市街地形成・緑空間や景観の創出⇒みどり
- ③東北の中枢・高度な機能の集積・国際競争力のあるビジネス環境の整備
- 4賑わい空間の創出
- ⑤回遊性の向上 居心地が良く歩きたくなる歩行空間の創出
- ⑥防災環境都市·防災対策·帰宅困難者の緊急避難場所の確保

[A]

賑わい(4) +緑(2) がある青葉通駅前エリア

- ⇒緑がある空間の中で、人が集まり、滞在し、交流し、活気がある⇒仙台の顔(①)
- ⇒回遊してみたい、居心地が良く歩きたいと来街者に感じてもらう(⑤)
- ⇒国内外から人が集い、交流でき、楽しめるまちへ

[B]

【A】+都心再構築プロジェクト(老朽化した建物の建て替え、ニーズにあったオフィス整備)

- ⇒東北の中枢・高度な機能の集積・国際競争力のあるビジネス環境の整備(③)
- ⇒多様なイノベーションが生まれ、働く場所として選ばれるまちへ
- 【C】防災環境都市として、防災対策・帰宅困難者の緊急避難場所の確保



【資料4】

市民参画イベント素案

市民参画イベント素案

開催趣旨

- ●青葉通のあり方検討およびR4社会実験の開催に向け、検討状況等について一般市民等への周知を目的とする。
- ●今回の第一のターゲットは、青葉通駅前エリアのまちづくりを担う次世代や、プレーヤーになり得る市民
- ●また、一般参加者の中から、関心・意欲の高いプレーヤーを発掘し、今後のプレイスリーダーや社会実験参画を増やす きっかけをつくる

開催概要

項目	内容	備考
開催時期	1月下旬	
開催時間帯	平日金曜日	2~3時間程度を想定
	18:00-20:30	
開催方法	対面+web 配信	Web は zoom ウェビナー等を想定。
		Slido 等を活用したオンライン質疑
		受付も検討
開催場所	CROSS B PLUS (定員 150 人)	https://cross-b-plus.com/
参加者想定人数	最大 80 名程度を予定	3 密回避のため定員の半分
募集方法	誰でも参加可能、無料	
	市 HP などによる広報	
	(Googleform 等による事前の	
	簡易申込あり)	

【資料5】

今後のスケジュール

今年度スケジュール

時期	11/1	12/1	12/22	1月~3月	3月下旬
協議会 WG	第3回WG	第4回WG	第2回 協議会	検討状況を踏まえWGを適宜開催	第3回 協議会
利活用 (あり方) 検討項目	将来の姿について	ビジョン案作成に 向けた視点整理	視点確認		ビジョン案作成
R3 イベント			R3 イベント案	市民参画イベントの実施	
企画	イベント案検討		確認	詳細な時期は今後検討	
R4 社会実験 企画	協議状況、R3イベントを踏まえながら企画 並行して検討				
交通処理 検討項目	R4社会実験に向けた交通処理協議 ・バス停、迂回ルート ・交通処理における課題 ・シミュレーションによる検証			検討状況を踏まえた 交通処理協議	

【資料6】

次回WG予告

次回 WG予告

第4回ワーキンググループ

12月22日に開催予定の第2回協議会の議題内容となる項目について、 協議を行う予定です。

- ① 将来ビジョンの作成に向けた視点の整理
 - ⇒SWOT分析、市の上位計画に基づき、 将来ビジョンの基となる「視点」を整理します
- ② 市民参画イベント(案)
- ⇒下記事項をお伝えできればと考えております。
 - ・日時、場所
 - •構成
 - ·外部講師候補 等